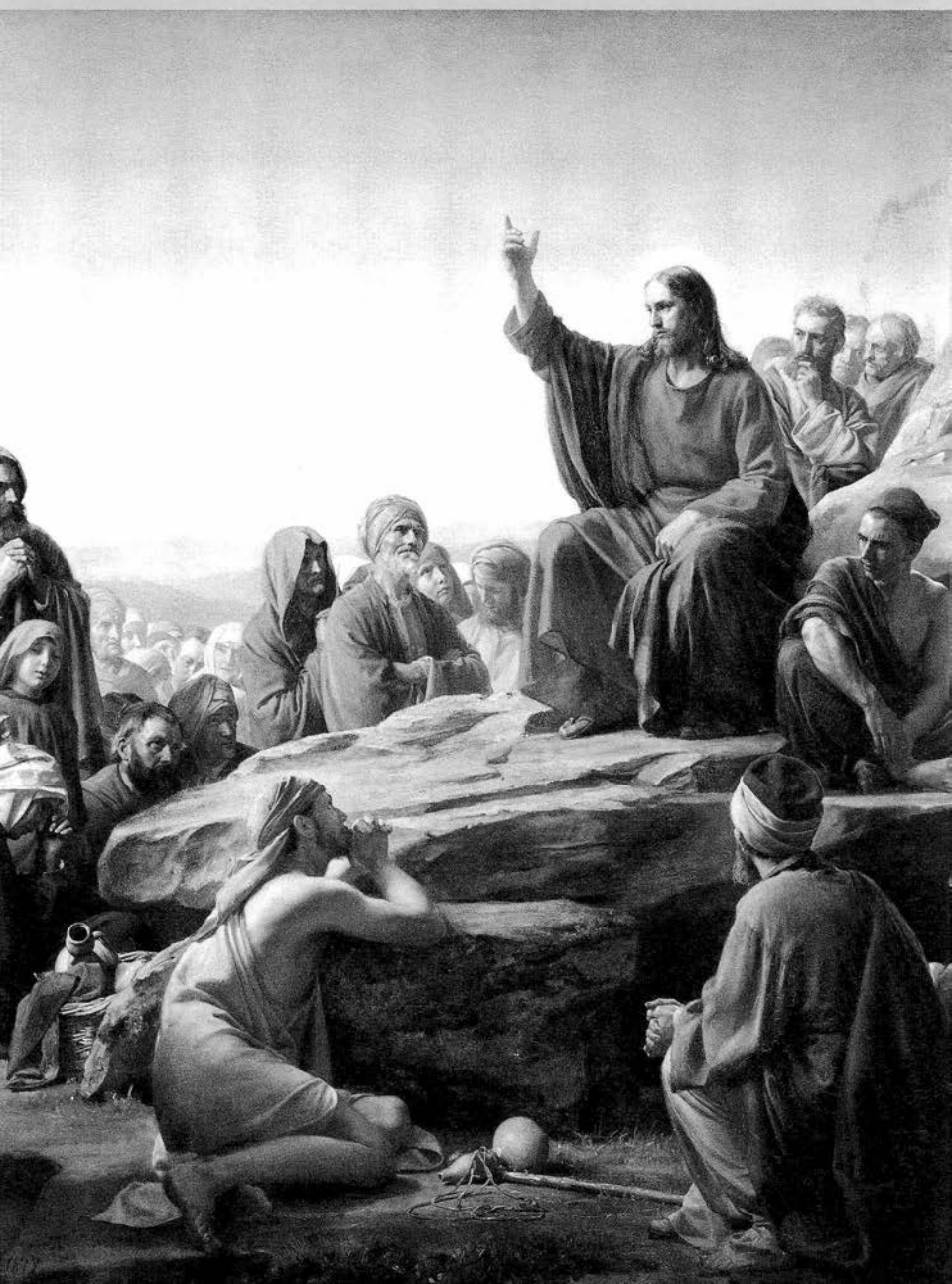


# 新約聖書

生徒用学習ガイド



表紙：「山上の垂訓」カール・ブロック画。ブレデリックスボル国立歴史博物館の許可を得て掲載

©1997, 末日聖徒イエス・キリスト教会版權所有

英語版承認 - 1996年8月

翻訳承認 - 1996年8月

New Testament Class Member Study Guide  
Japanese

Printed in Japan

35682 300

## はじめに

イエスは言われた。「わたしに学びなさい。」(マタイ11:29) 主の福音に従って生活するには、救い主と救い主の真理について学ばなければならない。あなたは毎日聖文を調べることによって、主に近づくことができる。なぜならば、「これらのことを書いたのは、あなたがたがイエスは神の子キリストであると信じるためであり、また、そう信じて、イエスの名によって命を得るためである。」(ヨハネ20:31)

この学習ガイドは番号で区分されているが、それぞれの番号は「新約聖書福音の教義コース」のレッスンに対応している。各課には1週間の読書課題とあなたの研究をいっそう充実したものとするための質問が設けられている。これらの質問は、聖文の応用についてあなたのレベルを引き上げるため、家族の間で福音に関する話し合いを展開するため、クラスの話し合いに積極的に参加するために活用することができる。

本学習ガイドは家族にとって貴重な資料となる。各課には、家庭における福音学習に家族の関心に向け、内容に変化を持たせるための活動や話し合いが提案されている。

また各課には関連聖句と呼ばれる項目がある。これは読書課題に関連のある聖句のリストである。自分の聖典の最後にある余白部分にこれらの聖句を書き出しておくことよい。『聖句ガイド』から聖句を選んでさらに充実させた自分なりの関連聖句を作ってもよいであろう。

あなたの聖典において関連聖句をいっそう意味のあるものにするために、リストの

最初の参照箇所を実際に開いてその聖句に印を付ける。そして、その聖句の余白部分にリストで2番目に挙げられている聖句の参照箇所を記入する。次に2番目の聖句の参照箇所を開いたら、印を付け、その聖句の余白部分にリストの3番目に挙げられている聖句の参照箇所を記入する。このようにしてリストの最後の参照箇所まで印を付けたら、最後にその聖句の余白部分にリストの最初の聖句の参照箇所を記入して鎖を完成させる。これらの関連聖句を利用すると、特定の福音の原則について素早く参照聖句を見つけることができる。

本学習ガイドの最後には聖文を研究することによってもたらされる祝福について末日の預言者たちが語った言葉が記されている。

あなたは福音の教義クラスの教師とともに、レッスンを成功させる責任を分かち合っているのである。教師は「真理の御霊によって……宣べ伝える」必要があり、「真理の言葉」を受け入れる人々は「真理の御霊によってそれを受け入れる」べきであると主は言われた(教義と聖約50:17, 19)。あなたが理解した事柄を紹介し、質問をし、経験を分かち合い、証を述べ、教師と生徒の話に真剣に耳を傾ける準備をしたうえで、クラスに出席しなさい。本学習ガイドの読書課程を研究し、質問について深く考えることによって、あなたは主の次の言葉が成就する状態に自らを置くことができる。「説く者と受ける者が互いに理解し合い、両者ともに教化されて、ともに喜ぶのである。」(教義と聖約50:22)

## 「イエスは神の子キリストであると信じるため」

イザヤ61：1-3；ジョセフ・スミス訳ルカ3：4-11；ヨハネ1：1-14；20：31

1

- ヨハネ1：1-3, 14からイエス・キリストについてどのような事柄を学びますか（ヨハネ1：1, 14の「言」は救い主を指していることに注意する。ジョセフ・スミス訳ヨハネの該当する聖句を活用できれば、それを使う）。
- 使徒ヨハネは「〔イエス〕に命があった」と述べています（ヨハネ1：4）。また、イエスは「すべての人を照すまことの光〔で〕あって、世にきた」と証しています（ヨハネ1：9）。救い主はどのようにしてあなたに命と光を与えてこられたのでしょうか。
- 新約聖書に記されている出来事または教えの中で、あなたが特別な靈感を受けたり、助けとなったたりした出来事や教えにはどのようなものがありますか。今年、

日曜学校で新約聖書を学ぶことによって、どのようにイエスがキリストであることの証が強められるでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

ヨハネ1：1-3またはジョセフ・スミス訳ヨハネ1：1-3を読む。イエス（ヨハネ1：1-3の「言」）は天父の指示の下で地球を創造されたことを説明する。家族で散歩に出かけて、主が創造された多くの美しいものを詳しく観察する。

### 関連聖句——イエス・キリストの予任されていた使命

ヨハネ1：1-5                      モーサヤ3：5-10  
ヨハネ1：9-17                    イザヤ61：1-2  
アブラハム3：22-27              ルカ4：16-21

## 「わたしの魂は主をあがめ」

ルカ1；マタイ1

2

- マリヤと天使との会話およびマリヤとエリサベツとの会話から、マリヤについてどのようなことが分かるでしょうか（ルカ1：26-38, 45-49参照；アルマ7：10も参照）。彼女の模範に倣うため、あなたは何を行えるでしょうか。
- エリサベツ、ザカリヤ、バプテスマのヨハネ、マリヤ、ヨセフが示した模範から、あなたはどのように救い主の偉大さを理解し、救い主に対する信仰を深めることができるでしょうか。わたしたちはどうしたら、人々がイエス・キリストに対して抱いている信仰を強めることができるでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

ルカ1：16を読んで、人々と福音を分かち合うことによって人々を主に「立ち帰らせる」ことの大切さについて話し合う。家族の一人や友人で教会の会員でない人または教会にあまり活発でない人のリストを作る。導きを求めるために家族で祈ってから、だれと福音を分かち合うかを決め、それをどのように行うかを決める。

### 関連聖句——バプテスマのヨハネに関する預言

イザヤ40：3                      ルカ1：13-17  
1ニーファイ10：7-10              ルカ1：67, 76-79

## 「あなたがたのために救主がお生れになった」

ルカ2；マタイ2

# 3

- イエスが誕生された当時、世の中はどのような状態だったのでしょうか（ルカ2：7参照）。今日の人々はなぜ救い主を生活の中に迎え入れようとしませんか。救い主をわたしたちの生活に迎えるにはどうすればよいのでしょうか。
- イエスはなぜ地上に来られたのでしょうか（3ニーファイ27：13-16参照）。
- 「東からきた博士たち」は幼子イエスを探し当てたとき何をしましたでしょうか（マタイ2：11参照）。あなたは主にどのような贈り物をささげることができるでしょうか。
- 青少年時代のイエスは「ますます知恵が加わり、背たけも伸び、そして神と人から愛された。」（ルカ2：52）言葉を換えれば、イエスは知的、肉体的、霊的、社

会的に成長されました。わたしたちは知的、肉体的、霊的、社会的に成長するために、具体的にどのようなことができるのでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

イエスの誕生に関する賛美歌または初等協会の歌集から数曲を選んで歌詞を読む。そして、どの曲の歌詞かを家族に当ててもらおう。賛美歌または初等協会の歌を1曲家族で歌い、クリスマスのシーズンだけでなく年間を通じてイエスの誕生を忘れないことの大切さについて話し合う。

### 関連聖句——イエスの誕生

イザヤ9：6                      1ニーファイ11：13-21  
ヒラマン14：1-8              ルカ2：7-14

## 「主の道を備えよ」

マタイ3-4；ヨハネ1：35-51

# 4

- ヨハネは救い主の来臨に人々を備えさせるために、どのようなメッセージを宣べ伝えたのでしょうか（マタイ3：1-2参照）。悔い改めるとはどのような意味でしょうか（2コリント7：9-10；ルカ19：8；モーサヤ7：33；教義と聖約1：31-32；58：42-43参照）。
- 救い主が荒野でサタンに遭遇された記事を読むと、誘惑に対抗するうえで何を学びますか（マタイ4：1-11参照。ジョセフ・スミス訳マタイ4：1、5-6、8-9；4：11も参照）。
- ピリポはイエスがメシヤであられることについて証を得た後、ナタナエルの疑問に対してどのように答えたのでしょうか（ヨハネ1：43-46参照）。わたしたちは人々に救い主を「きて見なさい」と勧めるため

にどのようなことができるのでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

家族の中でバプテスマを受ける準備をしている人のためのレッスンを準備する。または間もなくバプテスマを受ける予定の改宗者を助ける方法について話し合う。イエスはなぜバプテスマをお受けになる必要があったか（マタイ3：13-15；2ニーファイ31：6-9）、わたしたちはなぜバプテスマを受ける必要があるか（2ニーファイ31：5、10-12；教義と聖約20：71-73；49：13-14）について話し合う。家族の中でバプテスマを受けた人に、バプテスマを受けたときのことを話してもらい、またバプテスマを受けたことによって受けてきた祝福についてどのように感じているかを述べてもらおう。

## 関連聖句——悔い改め

ルカ15：3-10      1ヨハネ1：8-9  
2コリント7：9-10      マタイ3：1-2  
アルマ34：31-34      教義と聖約58：42-43

## 「新しく生れ〔る〕」

ヨハネ3-4

- イエスはニコデモに対し、「だれでも新しく生れなければ、神の国を見ることはできない」と言われました（ヨハネ3：3）。新しく生まれるとは、どのような意味でしょうか（本課の「関連聖句」の項参照）。
- アルマ5：14-31を、あたかもアルマがあなたに語っているかのように読み、内容について深く考えましょう。「霊的に神から生まれ」（アルマ5：14）るために、個人的に何を行う必要があるでしょうか。
- イエスはサマリヤの女に「生ける水」を与えられました（ヨハネ4：10）。「生ける水」とはどのような意味だと思いますか（1ニーファイ11：25；教義と聖約63：23参照）。どうすれば「生ける水」を手に入れることができるでしょうか。あなたにとってこの「生ける水」

はどのように祝福となっているのでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

家族全員にコップを配る。それぞれのコップに水を注いで、全員に水を飲んでもらう。もう1杯水を飲みたいかどうかを全員に尋ねる。それからヨハネ4：1-15を読んで、上記の3番目の質問について話し合う。わたしたちはキリストのもとに来て、福音に従って生活するならば、「永遠の命」を受けることを証する（ヨハネ4：14）。

### 関連聖句——「新しく生まれ〔る〕」

ヨハネ3：3-5      モーサヤ27：25-26  
ヨハネ3：16-17      アルマ5：14-16  
モーサヤ5：1-7      アルマ22：15-18

## 「彼らはすぐに網を捨てて、イエスに従った」

ルカ4：14-32；5：6；12-16；マタイ10

- 使徒たちを召すことはイエスにとってなぜ大切だったのでしょうか（マタイ9：36-38；16：19；マルコ3：14-15；ヨハネ20：19-21，23；エペソ4：11-15参照）。今日、主が使徒たちを召されることはなぜ大切でしょうか。
- マタイ10に記されているイエスの教えから、使徒に与えられた力と責任についてどのようなことを学ぶことができるでしょうか。あなたは末日の使徒がこれらの責任を果たす姿を目にしたことがあるで

でしょうか。

- 使徒の勧告に従うことによってこれまでのような祝福を受けてきたでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

あなたの地域で発行されている教会機関誌（『リアホナ』）の最も新しい大会特集号から中央幹部の一覧表を見せる。家族が、大管長会と十二使徒定員会会員の顔と名前を一致できるようにする。預言者と使徒によって導かれていることからもたらされる

5

6

祝福についてあなたが感じていることを述べる。

## 関連聖句——使徒の召し

ルカ6：13 教義と聖約107：33、35  
マタイ10：5-8 教義と聖約112：14  
エペソ4：11-15 教義と聖約112：19-22  
教義と聖約107：23

## 「彼は、わたしたちのわずらいを身に受け、 わたしたちの病を負うた」

マルコ1-2；4：35-41；5；ルカ7：11-17

- 奇跡とは、神の力または霊的な力によって起こされる超自然的な出来事です（『聖句ガイド』「奇跡」の項、81参照）。イエスは教導の業に携わっていた間、数々の奇跡をなぜ行われたのでしょうか（質問の答えの一例として、マタイ9：27-30；マルコ1：27；2：10-11；5：19を参照する）。
- 奇跡が行われる以前に信仰がなければならぬのはなぜだと思いますか。なぜ奇跡だけでは信仰の堅固な基礎を築くことができないのでしょうか。
- イエスが地上におられた間に行われた奇跡はなぜあなたにとって大切なのでしょうか。救い主は現在も奇跡を行っておら

れることを知るのにはなぜ大切でしょうか。現代に行われた奇跡にはどのようなものがあるのでしょうか。

## 家族の話し合いのための提案

家族がそれぞれの生活の中で奇跡を経験したことがあればそのことについて話してもらおう。あるいは奇跡を経験した人を知っていればその人の体験について述べてもらおう。

## 関連聖句——奇跡とイエス・キリストへの信仰

2ニーファイ27：23 エテル12：12  
マルコ1：34 モルモン9：15-21  
3ニーファイ17：5-10

## 山上の垂訓——「最もすぐれた道」

マタイ5

- 末日聖徒はどうすれば「世の光」となることができるでしょうか（マタイ5：14；16節も参照）。
- マタイ5：22-24、28、34-37、39-40、44-48に記されている救い主の教えは、マタイ5：21、27、33、38、43で述べられている律法に比べ、どのような点で高度な律法なのでしょうか。
- わたしたちが、「キリストのもとに来て、キリストによって完全に」なるために、山上の垂訓の教えはどのように役立つのでしょうか（モロナイ10：32）。

## 家族の話し合いのための提案

黒板、画用紙、または白紙に以下の言葉を書く（あるいは家族の状況に合ったほかの言葉でもよい）。「山上の垂訓の教えは学校でも役に立つ。」家族の何人かにマタイ5から数節を読んでもらい、それらの聖句はあなたが書き出した言葉が正しいことをどのように証明しているかについて話し合う。

## 参照聖句——イエス・キリストの贖いによる完成

マタイ5：48 モロナイ10：32-33  
エテル12：27 教義と聖約76：68-70

7

8

## 「まず神の国と神の義とを求めなさい」

マタイ6-7

- 他人から見られるために善いことをしている人々はどのような報いを受けるでしょうか（マタイ6：2, 5, 16参照）。わたしたちは神に喜ばれるのではなく他人の目を引く行動として、どのようなことをしているでしょうか。良い業を行い、奉仕するための動機を清いものにするにはどうすればよいのでしょうか。
- マタイ7：12の教えは黄金律と呼ばれています。この原則の大切さを実感するような経験をしたことがあるでしょうか。黄金律に従うことによって、どのようにイエス・キリストの忠実な弟子になることができるでしょうか。
- わたしたちが「まず神の国……を求め」るならば、必要なすべてのものは添えて与えられるとイエスは約束されました（マタイ6：33）。この約束について証を得るような経験をしたことがあるでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

1. 石と少量の砂を見せる。家屋の土台には

どちらの材料を使うかを家族に尋ねる。マタイ7：24-27を読んで、救い主の教えの上に生活を築くことと堅い岩の上に家を建てることにはどのような共通点があるかについて話し合う。

2. 1枚の地図を見せる。旅行を計画する際に地図はどのように役立つかを尋ねる。最近家族で旅行したことがあったり、近い将来に家族で旅行する計画があったりする場合は、地図をどのように活用したかあるいはどのように活用するつもりかを話し合う。永遠の命を目指すわたしたちの旅で、聖典と生ける預言者の教えは地図のようなものであって、天父のもとへ帰る方法を教えてくれることを説明する。

### 関連聖句——キリストの弟子として生活する

マタイ16：24-25      ヨハネ13：35  
マタイ7：21          2ニーファイ31：10-13  
ヨハネ8：31          モロナイ7：48

## 「わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい」

マタイ11：28-30；12：1-13；ルカ7：36-50；13：10-17

- この世で背負っている重荷としてどのような例を挙げることができるでしょうか。主はどのようにしてこれらの重荷から「休ませて」くださるのでしょうか（マタイ11：28-30参照）。わたしたちがキリストのくびきを負うとはどのような意味でしょうか（本課の「関連聖句」の項参照）。
- 女はパリサイ人シモンの家に入ったとき、罪の重荷を負っていました（ルカ7：37）。女がどのようなことをしたために、イエスは彼女の重荷を取り去られた

のでしょうか（ルカ7：38, 44-50参照）。わたしたちの生活から罪の重荷を救い主に取り除いていただくために、わたしたちはどのようなことができるでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

家族の一人に、口の部分が開いた空のかばんか箱などの容器を持ってもらう。家族のほかの人たちにその容器の中へ一つずつ物を入れさせ、容器が重くなったら、別の一人に容器を持つのを手伝ってもらう。容器に入れた物は逆境や悲しみなどわたした



ちが背負う重荷を表していることを説明する。手伝った人が差し出した援助は、「重荷を負うて苦勞している」（マタイ11：28）ときに救い主のもとへ行って主から与えられる休息を表している。マタイ11：28-30とモーサヤ24：8-15を読んで、わたしたちは救い主に従っているならば、救い主はわたしたちの重荷を少なくしてくださり、軽く

してくださることを家族に理解させる。

**関連聖句**——「わたしのくびきを負い〔なさい〕……そうすればあなたがた〔に〕休みが与えられるであろう」

マタイ11：28-30 教義と聖約54：10

モーサヤ24：8-15 教義と聖約59：23

アルマ12：33-35

## 「イエスは譬で多くの事を語り」

マタイ13

# 11

- 種まきのたとえはどのような意味を表しているのでしょうか（マタイ13：3-8、18-23）。種まきのたとえは種をまく人や種よりも、土地に焦点が当てられているのはなぜだと思いますか。
- イエスは種まきのたとえをした後、どのように招いておられるのでしょうか（マタイ13：9参照）。この招きで使われている「聞く」という言葉はどのような意味でしょうか。見ても見えず、聞いても聞こえずとはどのような意味でしょうか（マタイ13：13-15参照）。
- 預言者ジョセフ・スミスはからし種とパン種のたとえは末日聖徒イエス・キリスト教会に関するものであると教えています（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*【預言者ジョセフ・スミスの教え】ジョセフ・フィールディング・スミス選、98-100）。あなたは神の業がこれら<sup>たとえ</sup>のたとえに描かれているように発展するのを見たことがあるでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

小さな紙を14枚準備する。麦と毒麦のたとえに関連のある以下の言葉をそれぞれの紙に書いておく。(1) 種をまく人、(2) 主と主の使徒たち、(3) 良い種、(4) 義にならなかった教会員、(5) 畑、(6) 世の中、(7) 毒麦、(8) 邪悪な人、(9) 敵、(10) 悪魔、(11) 収穫、(12) 世の終わり、(13) 刈る者、(14) 天使たち。麦と毒麦のたとえを復習するために、まず紙を裏返しにして混ぜる。次に、カード合わせのゲームの要領で、一人ずつ順番に2枚ずつ紙をめくって、それらがたとえの中で互いに関連のある人、物、行動であれば得点とする。この話し合いを進めるに当たって、マタイ13：24-30、36-43と教義と聖約86：1-7を読んでもよい。

### 関連聖句

——「聞く耳」

マタイ13：9-16 アルマ10：2-6

モーサヤ2：9 アルマ12：9-11

## 「わたしが命のパンである」

ヨハネ5-6；マルコ6：30-44；マタイ14：22-33

- イエスは「聖典を調べ」るようと言つて（欽定訳ヨハネ5：39）、ユダヤ人の指導者たちに挑戦されました。聖典を調べることと聖典を読むことはどのように異なるのでしょうか。個人と家族の聖文研究をいっそう意義のあるものにするためにあなたはどのようなことをしてきたでしょうか。あなたは聖典を調べることによってどのような祝福を受けてきたでしょうか。
- ペテロは水の上を歩き始めたとき、なぜ信仰が揺らいだのでしょうか（マタイ14：30参照）。わたしたちは困難な状況に遭遇すると、時々同じような過ちを犯すのはなぜでしょうか。
- 「命のパン」という表現は、救い主と救い主がわたしたちに差し出しておられる祝福をどれほどよく言い表しているのでしょうか（ヨハネ6：35，47-51参照）。わたしたちはどうすれば「命のパン」を食べることができるのでしょうか（ヨハネ

6：47，51-54；マタイ26：26-28；アルマ5：33-35；教義と聖約20：77参照）。

### 家族の話し合いのための提案

マタイ14：22-32を読む。ペテロは水の上を歩いたとき大きな信仰を表したが、恐ろしいと感じたときに沈み始めたことを指摘する。イエス・キリストの絵を見せる。様々な問題に取り囲まれることもあるが、そうしたときに救い主を思い起こし、救い主に従うならば恐れを克服できることを家族に確認する。家族の中でだれかが、イエス・キリストと主の教えを思い起こすことによって恐怖に打ち勝ったことがあればそのときの経験を話してもらう。

### 関連聖句——聖典はキリストを証する

ヨハネ5：39

使徒18：28

ヨハネ20：31

2ニーファイ25：26

## 「わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう」

マタイ15：21-17：9

- イエスはペテロに言われました。「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。」（マタイ16：18）預言者ジョセフ・スミスはイエスが言われた岩とは啓示のことであると教えました（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*『預言者ジョセフ・スミスの教え』ジョセフ・フィールディング・スミス選，274）。どのような意味で、啓示は教会の基となるのでしょうか。
- デビッド・B・ヘイト長老は、イエスの変貌は「直接にそれを目撃した人々ばかりでなく、わたしたちの霊の高揚にも大

きな意味を持つ」と教えています（「わたしたちは主の栄光を見た」『聖徒の道』1977年10月号，433）。あなたが霊的な力を必要とするときに与えられる助けについて、変貌からどのようなことを学ぶことができるのでしょうか（マタイ17：1-5参照）。

### 家族の話し合いのための提案

マタイ16：13-17を読む。ペテロは啓示を通してイエス・キリストに対する証を得たこと、わたしたちも同じようにして救い主に対する証が得られることを説明する。あ

あなたはどのようにしてイエス・キリストに対する証を得たか、そしてその証を強めるためにどのようなことをしているかについて家族に話す。適切であれば、家族に証を述べてもらう。毎日祈ること、聖文を研究すること、神の戒めに従うことによって証を強めるよう家族を励ます。

#### 関連聖句——啓示

箴言29：18  
アモス3：7  
1コリント2：9-12  
ガラテヤ1：11-12  
2ペテロ1：20-21  
アルマ5：46  
モロナイ10：5

## 「わたしの隣り人とはだれのことですか」

マタイ18；ルカ10

- イエスは天の王国において真の偉大な人物になりたいと考えている人々にどのような勧告を与えられたのでしょうか（マタイ18：2-4；マルコ9：35参照）。どうしたらわたしたちは幼子のようにになって、天の御父の御心にもっと従順になることができるでしょうか。
- 無慈悲な僕のたとえの教えで、イエスは人々を救すことの大切さをさらに強調されました（マタイ18：23-35）。主に対して負債を負っている事実からすれば、わたしたちはどのように王の僕と同じような立場に置かれていると思いますか。人々を救すことについて、王の模範からどのようなことを学ぶことができるでしょうか。人を救さないとどのような目に遭う危険性があるのでしょうか（マタイ18：34-35参照）。
- 良いサマリア人のたとえから、あなたは何を学べますか（ルカ10：25-37）。あなたは「良いサマリア人」から助けられたことがあるのでしょうか。わたしたちは

どうしたら「良いサマリア人」になることができるでしょうか（モーサヤ4：26参照）。

#### 家族の話し合いのための提案

良いサマリア人のたとえを読む（ルカ10：25-37）。特に「あなたも行って同じようにしなさい」と言われた救い主の勧告に注目する（ルカ10：37）。次にあなたの友人、親戚、知人のリストを作る。家族にそれぞれ少なくとも一人の名前を出してリスト作りに貢献するように言う。今週、リストの中の一人か二人に対して奉仕を行うための計画を立てる。

家族の話し合いの中で「今日われ善きことせしか」（『賛美歌』137番）を一緒に歌うとよい。

#### 関連聖句——「あなたの隣人を愛しなさい」

ルカ10：25-37  
レビ19：18  
マタイ22：35-40  
ヨハネ13：34-35  
モーサヤ2：17  
教義と聖約38：24-25

## 「わたしは世の光である」

ヨハネ7-8

- イエスは、御自分の教えについて証を得るには何をしなければならぬと人々に教えられたでしょうか（ヨハネ7：17参照）。あなたはこの教えをどのように自

分の生活に応用できるでしょうか。

- イエスが世の光であられるとはどのような意味でしょうか（本課「関連聖句」の項参照）。キリストが放射しておられる

# 14

# 15

光に人々の目を向けるために、わたしたちはどのようなことができるでしょうか(マタイ5:16; 28:18-20; ビリビ2:14-15参照)。

- 引き続きイエスに従う人々に、イエスはどのようなことを約束されたでしょうか(ヨハネ8:31-32参照)。真理により、わたしたちは何からの自由を得るでしょうか(ヨハネ8:33-34参照)。罪を犯すとどのようにして奴隷になるのでしょうか(アルマ12:11; 34:35参照)。あなたは真理を知ることによってどのように自由を得ていますか。

### 家族の話し合いのための提案

部屋の電灯を消して、カーテンやブライ

ンドを閉める。そして、聖典を読む、絵を描くなど光を必要とする簡単な活動を行ってもらう。その後、電灯をつけ、カーテンやブラインドを開けてから、もう一度同じ活動をしてもらう。光があるとなぜ作業をしやすいかについて話し合う。ヨハネ8:12を読んでから、イエス・キリストはどのような意味で世の光となっておられるかを話し合う。

### 関連聖句——イエス・キリスト「世の光」

ヨハネ8:12	アルマ38:9
詩篇27:1	3ニーファイ15:9
イザヤ2:5	教義と聖約88:6-13

## 「わたしは盲人であったが、今は見える」

ヨハネ9-10

- イエスは生まれつきの盲人を癒されました(ヨハネ9:1-7)。証を述べ続けることによって、この人の証はどのように強められたでしょうか(ヨハネ9:11, 17, 33, 38参照)。あなたは、分かち合うことによってどのように証を大きくしてきましたでしょうか。
- 目が見えなかった男の両親は奇跡についてパリサイ人から尋ねられたとき、どのように答えたでしょうか(ヨハネ9:18-23参照)。この両親はなぜこのように答えたのでしょうか(ヨハネ9:22参照)。わたしたちも時々この両親のように振る舞うことがあるのはなぜでしょうか。自分の証にもっと雄々しくあるためにはどうすればよいでしょうか。
- イエスが話された羊飼いと羊の話の中で、羊はだれを表しているでしょうか(ヨハネ10:4, 27参照)。羊飼いはだれを表しているでしょうか(ヨハネ10:11参照)。良い羊飼いはどのような資質を

持っているでしょうか(ヨハネ10:3-4, 7, 9-15参照)。イエスはどのように羊飼いとして完全な模範を示されたでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

ヨハネ9:1-38を読んで、救い主は盲人をどのような意味で肉体的にも霊的にも目が見えるようにされたかを聖典から探してもらう。霊的に見ることと肉体的に見ることはどのような点で似通っており、またどのような点で異なっているかについて話し合う。福音の真理を「見る」能力を高める方法について話し合う。

### 関連聖句——イエス・キリスト「良い羊飼い」

詩篇23:1-6	ヨハネ10:11
イザヤ40:11	モーサヤ26:21
エゼキエル34:11-12	アルマ5:60

# 16

## 「永遠の生命を受けるために、何をしたらよいでしょうか」

マルコ10：17-30；12：41-44；ルカ12：13-21；14：16

# 17

- 物を持つことよりも大切な祝福にはどのようなものがあるでしょうか（幾つかの例として、ルカ12：31-34；教義と聖約6：7参照）。
- なぜ多くの人々はそれが一時的なものではないことを知りながら、この世の富に心を奪われているのでしょうか。物を持つことに心を向けすぎているかどうかを判断するにはどうすればよいでしょうか。
- 主はあなたにどのような犠牲を求められたでしょうか。それらの犠牲を払ったときに、あなたはどのような祝福を受けたでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

部屋の一方の隅に標準聖典を置き、部屋の反対側の隅にお金を置いておく。家族の

一人に、お金を見ながら聖典に向かってまっすぐに歩いて行くように言う。聖典までたどり着くのが難しかったら、その理由を尋ねる。聖典までたどり着くことができた場合は、まっすぐな道からそれないでどれほどの距離を歩くことができると思うかを尋ねる。マルコ10：17-24を読み、この世的なもの（お金に代表される）に心を向けていると、神の王国（聖典に代表される）に入ることができないことを説明する。物質的な富に対してどのような姿勢で向かい合うべきかを理解して、その姿勢を続けるための方法について話し合う。

### 関連聖句——神の王国を求める

マタイ6：19-21      モルモン書  
マタイ6：33          ヤコブ2：18-19  
マルコ10：28-30      教義と聖約6：6-7

## 「いなくなった羊を見つけました」

ルカ15：17

# 18

- わたしたちは失われた羊のたとえに登場する羊飼いと、銀貨のたとえに登場する女の取った行動から何を学べるでしょうか（教義と聖約18：10-13参照）。どのような場合に人は「失われる」のでしょうか。失われた人々に対してわたしたちにはどのような責任があるのでしょうか（ルカ15：4-5，8；アルマ31：34-35参照）。
- 放蕩息子のたとえで、父親は息子が帰って来るのを見たとき、どうしたでしょうか（ルカ15：20参照）。父親は息子の告白に対してどのような態度を示したでしょうか（ルカ15：21-24参照）。父親の態度は、悔い改めたときにわたしたちを迎えてくださる主の姿勢とどのように共通するものがあるでしょうか（ルカ15：7；モ

ーサヤ26：30；教義と聖約58：42参照）。

### 家族の話し合いのための提案

イエスが10人のらい病人を癒された物語を復習する（ルカ17：11-19）。わたしたちは9人のらい病人と同じように、なぜ主に対して常に感謝を表そうとしないかについて話し合う。毎日主に感謝を表すためにどのようなことができるかを話し合う。

話し合いの中で、「主イエスの愛に」『賛美歌』109番を一緒に歌うとよい。

### 関連聖句——悔い改める人々について主とともに喜ぶ

ルカ15：4-10          アルマ26：11-16  
ルカ15：11-24        教義と聖約18：10-16

## 「あなたの信仰があなたを救った」

ルカ18：1-8, 35-43；19：1-10；ヨハネ11

- エリコの近くに住む盲人はどのようにして主を信じる信仰を表したでしょうか（ルカ18：38-42参照）。あなたはイエス・キリストを信じる信仰を表すことによってどのように祝福を受けてきましたか。
- ザアカイはどうしてもイエスを見たいと思う気持ちをどのようにして行動に表したでしょうか（ルカ19：3-4参照）。イエスは木に登っているザアカイを見て、どのような言葉をかけられましたか（ルカ19：5参照）。ザアカイはイエスの言葉に対してどのようにこたえたでしょうか（ルカ19：6参照）。わたしたちは家庭にイエスを喜んでお迎えするために、どのようなことができるでしょうか。

- あなたはヨハネ11：21-27に記されているマルタの証に、どのような印象を受けますか。

### 家族の話し合いのための提案

ヨハネ11：1-46を読む。この物語を読んで、救い主に対してどのような気持ちを抱いたかを家族に尋ねる。マリヤとマルタがイエス・キリストを信じる信仰を持っていることを表す聖句を採り上げて検討する。救い主に対していっそうの信仰を表すためにできる事柄を一人に一つずつ選んでもらう。

### 関連聖句——揺るぎない信仰

マタイ8：5-10, 13    2テモテ4：7  
マルコ10：46-52    エテル3：3-13

## 「偽善な……あなたがたは、わざわいである」

マタイ21-23；ヨハネ12：1-18

- イエスがつつましくろばに乗りながらもエルサレムに凱旋された出来事に、あなたはどのような印象を受けるでしょうか（マタイ21：1-11参照）。あなたがその日その場所に居合わせたとしたらどのように感じたと思いますか。
- マタイ22：37-40の戒めはなぜそれほど大切だと思いますか。わたしたちはこれらの戒めをもっと完全に守るためにどのようなことができるでしょうか。
- 律法学者とパリサイ人は偽善であったため、救い主から度重なる警告を受けました。彼らは自分たちが義人であるように見せかけるために儀式や行いのうわべばかりに気を配って、心が義にかなっているかどうかに関心を払っていませんでした（マタイ23：13-33）。偽善を避けるにはどうすればよいでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

1枚の紙に葉が茂っているのに実がなっていない木を描く。その裏に、葉が茂り、実がなっている木を描く。家族に実がなっていない木の絵を見せて、一人にマタイ21：17-20を読んでもらう。わたしたちは義人のようなふりをしていても実際には義にならなかった生活をしていないと、それは葉が茂っているのに実がなっていない木のような存在であることを説明する。実がなっている木の絵を見せて、他人から見られるために義を行うのではなく、実際に義にかなった生活をするよう家族を励ます。

### 関連聖句——心からの献身

マタイ22：37    オムナイ1：26  
ヨシュア24：15    教義と聖約4：1-2  
1ニーファイ3：7    教義と聖約20：37

## 「あなたがおいでになる時……には、 どのようなしるしがありますか」

ジョセフ・スミス—マタイ (マタイ24)

- ジョセフ・スミス—マタイ1:22には救い主の再臨のしるしとして、どのような事柄が挙げられているでしょうか。この預言が成就しつつある証拠として、あなたはどのような事柄を目にしているでしょうか。偽預言者にだまされないようにするにはどうすればよいでしょうか (マタイ7:15-20; 教義と聖約45:57; 46:7-8参照)。
- 主はわたしたちに戦争と戦争のうわさに「あわてないように気をつけなさい」と教えておられます (ジョセフ・スミス—マタイ1:23)。そのような騒然としている中で、どうすれば平安を見いだせるでしょうか (1ヨハネ4:16-18; 教義と聖約6:34-36; 45:34-35; 59:23参照)。
- 主はエルサレムで、弟子たちに「聖なる場所に立たなければならない」と語り (ジョセフ・スミス—マタイ1:12)、現

代でも同じような勧告を与えておられません (教義と聖約87:8; 101:22)。わたしたちが立つべき聖なる場所にはどのようなところがあるでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

本課の「関連聖句」から、再臨に先立って起こる幾つかのしるしについて話し合う。最近の新聞と教会機関誌 (『リアホナ』) を配る。家族に、二人一組になるか単独で、新聞と教会機関誌から再臨のしるしを探してもらおう。それぞれが見つけたしるしについて発表したら、再臨のためにどのような準備をすればよいかを話し合う。

### 関連聖句——再臨のしるし

イザヤ2:2-3

ダニエル2:44

ジョセフ・スミス— 教義と聖約45:16-35  
マタイ1:21-37

## 「あなたがたのために用意されている御国を受けつぎなさい」 マタイ25

- 10人のおとめのたとえは (マタイ25:1-13)、再臨を象徴しています。花婿は救い主を、10人のおとめは教会員を、そしてランプの油は再臨のための準備をそれぞれ表しています。わたしたちの「ランプ」に「油」を足すにはどのような方法があるでしょうか。
- マタイ25:14-30で、タラントは神からの賜物を象徴しています。人はそれぞれ少なくとも一つの賜物を神から受けています (教義と聖約46:11-12)。けれども気がつきやすい賜物と気がつきにくい賜物があります。受けていることに気が

つきにくい賜物であっても、人々に奉仕し、神をたたえるために使うことのできる賜物にはどのようなものがあるでしょうか。

- 救い主はどのような意味で「わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである」と言われたと思いますか (マタイ25:40; モーサヤ2:17も参照)。

### 家族の話し合いのための提案

タラントのたとえを読む (マタイ25:14-30)。タラントは神から与えられた賜物を表

していることを説明する。家族の一人一人に祝福をもたらしているタラントまたは賜物をつか二つ、各々に話してもらう。次に、家族全員にとって祝福となっているタラントや賜物について各人に話してもらう。地上における神の王国を建設するため

にそれらの賜物を役立てる方法について話し合う。

#### 関連聖句——再臨に備える

マタイ25：1-13 教義と聖約45：36-39  
教義と聖約38：29-30 教義と聖約88：123-26

## 「わたしがあなたがたを愛したように、 あなたがたも互に愛し合いなさい」

ルカ22：1-38；ヨハネ13-15

- イエスと使徒たちが過越の食事を取るために集まったときに、イエスは聖餐の儀式を紹介されました（ルカ22：19-20）。わたしたちにとって毎週聖餐を受けることはなぜ大切なのでしょう。聖餐を受ける前に、どのようにして霊的な準備をすることができるのでしょうか。
- イエスは使徒たちに彼らの足を洗った理由をどのように説明しておられますか（ヨハネ13：12-17参照）。あなたは人々に仕えることによって幸せを感じたことがあるのでしょうか。
- イエスは「互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう」（ヨハネ13：35）と言われました。人々に対するあなたの接し方は、あなたがキリストの弟子、あるいはキリストに従う者であることを示していますか。わたしたちはイエスの愛の模範に従うために、具体

的にどのようなことができるのでしょうか。

#### 家族の話し合いのための提案

家族の一人に教義と聖約20：77を読んでもらう。聖餐のパンが持つ意味について話し合う。次に、別の一人に教義と聖約20：79を読んでもらう。聖餐の水が持つ意味について話し合う。ここで、わたしたちはぶどう酒の代わりに水を用いていることを指摘する。わたしたちは聖餐を受けるとき、いつもイエスを覚えることと約束することを説明する。イエスを覚えるために家族としてどのようなことができるかについて話し合う。

この家族の話し合いの中で、聖餐の賛美歌または「イエス様を思うのは」（『子供の歌集』148）を一緒に歌うとよい。

#### 関連聖句——聖餐

マタイ26：26-28 3ニーファイ18：5-12  
ルカ22：19-20 教義と聖約20：77, 79

## 「永遠の命とは」

ヨハネ16-17

- 聖霊にはどのような使命があるのでしょうか（ヨハネ14：26；15：26；16：7-14参照）。わたしたちはどうしたら聖霊の働きを認識できるのでしょうか（ガラテヤ5：22-23；教義と聖約6：15, 23；11：13参照）。聖霊の賜物を授けられるとど

のような助けがあるのでしょうか。

- イエスは使徒たちに次のように言われました。「あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」（ヨハネ16：33）イエスが世に勝られたという

# 23

# 24



教えは、苦しみに直面したときに、勇気を出すうえでどのような助けとなるでしょうか。勇気を出すことは、なぜ大切なのでしょうか。

- 救い主はその祈りの中で次のように言われました。「永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることです。」(ヨハネ17:3) 天の御父とイエス・キリストを知ること、単に知識のうえで知ることの間にはどのような違いがあるでしょうか。わたしたちはどうしたら、天の御父とイエス・キリストを知ることができるでしょうか。

#### 家族の話し合いのための提案

二つの箱を用意し、一つの箱の中には「聖霊の賜物」と書いた紙を入れる。もう一つの箱の中には「永遠の命」と書いた紙を入れる。二つの箱を贈り物ふう包装する。

ヨハネ16-17の中で、イエスが二つのすばらしい賜物をわたしたちに授けてくださると述べておられることを説明する。家族の一人に最初の箱を開けさせ、その中の紙に書いてある言葉を読んでもらう。ヨハネ16:13を読み、この節に書かれている「真理の御霊」とは聖霊を指していることを説明する。家族のもう一人に2番目の箱を開けさせ、その中の紙に書いてある言葉を読んでもらう。ヨハネ17:1-3を読み、聖霊の賜物と永遠の命を受ける機会を与えられていることへの、自分自身の感謝の気持ちを話す。

#### 関連聖句——「わたしたちが一つであるように……一つになる」

ヨハネ17:20-26      4ニーファイ1:15-17  
ピリビ1:27          教義と聖約35:2  
モーサヤ18:21      教義と聖約38:24-27

## 「わたしの思いのままではなく、みこころのままになさって下さい」

マタイ26:36-46; マルコ14:32-42; ルカ22:39-46

- ゲツセマネの園で大きな痛みを受けることを御存じでありながら、イエスがそれを自ら引き受けられたのはなぜでしょうか(マタイ26:39, 42, 44参照)。ゲツセマネの園における救い主の祈りから、わたしたちは何を学べるでしょうか。あなたはこれまで天の御父の御心に従う中でどのような祝福を受けてきましたか。
- 救い主はゲツセマネの園でどのような経験をされましたか(教義と聖約19:16-19; ルカ22:44; モーサヤ3:7; アルマ7:11-13参照)。
- わたしたちにイエス・キリストの贖罪が必要なのはなぜでしょうか(1ニーファイ10:21; 2ニーファイ2:5-9; アルマ34:9; モーセ6:48参照)。救い主の贖

いの犠牲によってわたしたちはどのような祝福にあずかることができるようになったでしょうか(モーサヤ16:7-8; アルマ7:11-13; 教義と聖約19:23)。わたしたちはどのようにしたら、その祝福を得られるでしょうか(アルマ7:14; 信仰簡条1:3)。

#### 家族の話し合いのための提案

「ゲツセマネで祈られるイエス」(『福音の視覚資料セット』227)の絵を見せる。マタイ26:36-46; ルカ22:39-46; 教義と聖約19:16-19に書かれている、ゲツセマネにおけるイエス・キリストについての記述を読む。家族一人一人にイエス・キリストの贖いに対する気持ちを分かち合うよう

に勤める。

関連聖句——イエス・キリストの贖い

ルカ22：39-44      2ニーファイ9：5-8

教義と聖約19：15-19      アルマ7：11-14

モーサヤ3：7, 9      信仰箇条1：3

## 「そのためにこの世にきたのである」

マタイ26：47-27：66；マルコ14：43-15：39；ルカ22：47-23：56；ヨハネ18-19

# 26

- カヤバの邸宅の外で、あなたはイエスを知っていると人々から言われたとき、ペテロはどうしたでしょうか（マタイ26：69-75参照，34節も参照）。わたしたちの中にも時として、ペテロのように自分の信仰を否定してしまう人がいます。それはどのような場合でしょうか。主を否定した後のペテロの生き方から、わたしたちは何を学ぶことができますでしょうか。
- 救い主があなたのために受けられた苦しみについて、どのように感じますか。贖いに対する感謝の気持ちを、どのように表すことができますか。（これらについて考えるときに、自分の思いを日記に書き記すとよい。）

### 家族の話し合いのための提案

イエスの死と埋葬に関連して聖典の中に描かれている以下の人々について話し合う。この人々についてどのようなことを覚えているかを、家族に尋ねる。

イエス・キリスト	二人の強盗
ピラト	あざける人
クレネ人シモン	主から愛されたヨハネ
兵士	百卒長
アリマタヤのヨセフ	イエスの母マリヤ

### 関連聖句——これよりも大きな愛はない

ルカ22：33-46      1ニーファイ19：9-10

ヨハネ15：13      教義と聖約34：1-4

## 「そのかたは、ここにはおられない。よみがえられたのである」

マタイ28；ルカ24；ヨハネ20-21

# 27

- イエスが墓からよみがえられたことを知るのにはなぜ大切なのでしょう。この知らせは人類にどのような影響を及ぼすのでしょうか。あなたにはどのような影響を及ぼすのでしょうか。
- 復活された主は、漁をしている7人の弟子たちに御自身を現され、奇跡的に多くの収穫を得させられました（ヨハネ21：4-7）。パンと魚を食べた後で、イエスはペテロとほかの使徒たちに、何をするようにお命じになりましたか（ヨハネ21：15-17参照）。わたしたちはどうしたら、主の羊を養うことができるでしょ

うか。

- ヨハネが復活された主が語られたことや行われたことを記録したのはなぜでしょうか（ヨハネ20：30-31参照）。イエスの復活について聖典に書かれている事柄を学んで、あなたはこれまでどのような祝福を受けてきましたか。

### 家族の話し合いのための提案

家族の一人に片手に手袋を着けさせ、指を動かしてもらおう。その手袋はわたしたちの肉体を表し、手は霊を表していることを説明する。霊と肉体が結び合わさって、一

人の人間となる。ここで手袋を外してもらう。わたしたちの肉体はいつか死を迎えるが、霊はその後もし生き続ける。もう一度手に手袋を着けてもらう。復活とは霊と肉体が再び結び合うことであることを説明する。人は復活すると、二度と死や病気を味わうことがなくなる。イエス・キリストの復活によって、すべての人が復活できるようになったことを証する。(この実物を使ったレッスンはボイド・K・パッカー長老の話〔『聖徒の道』1974年2月号, 87-90〕を基に

している。)

家族の話し合いの一部として、「主はよみがえりぬ」(『賛美歌』114番)または「イエス様、本当に復活したの」(『子供の歌集』45)と一緒に歌うとよい。

#### 関連聖句——復活された主の御姿

ヨハネ20：11-29	使徒9：1-6
ルカ24：36-51	3ニーファイ11：1-14
1コリント15：3-8	ジョセフ・スミス— 歴史1：11-17

## 「わたしたちは、その事の証人である」

### 使徒1-5

- 聖霊の賜物は使徒たちがイエス・キリストの証人になるという責任を果たすうえで、どのように役立っているでしょうか(ヨハネ15：26-27；1コリント12：3参照)。福音を教えるためにわたしたちが行う働きの中で、聖霊はどのような役割を果たされるのでしょうか(2ニーファイ33：1；教義と聖約42：14参照)。
- 他国の言葉を語ったことで使徒たちをあざ笑った人々にペテロは何と言ったでしょうか(使徒2：14-24, 36参照)。あなたはペテロのその言葉からどのような印象を受けますか。イエス・キリストとその神聖な使命に対する証を持つことは、なぜ重要なのでしょうか。わたしたちが人に証を伝えるとき、聖霊はどのような助けを下さるでしょうか。
- ペテロは奇跡を、イエス・キリストについて証するための機会として用いました(使徒3：12-26；4：5-12)。わたしたちには、キリストについて証するどのよ

うな機会があるでしょうか。あなたはイエス・キリストの証人として証をする中で(あるいは、ほかの人々が証するのを聞いて)、これまでどのような祝福を受けてきましたか。

#### 家族の話し合いのための提案

モーサヤ18：8-9を読み、「いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、死に至るまでも神の証人になる」という教えについて深く考えてもらう。どうしたらこの教えに従うことができるを家族に質問する。家族の一人に、イエス・キリストとその福音の証人になることについて、経験の一つ話してもらう。この1週間言葉と行いにおいて、救い主の証人となるように家族を励ます。

#### 関連聖句——使徒-キリストの特別な証人

使徒1：1-8	教義と聖約27：12
使徒4：33	教義と聖約107：23

## 「弟子の数がふえてくるにつれて」

使徒6-9

- 教会が成長するにつれ、その内部には時として不和が生じることもありました（使徒6：1）。わたしたちは教会員として、不和や分裂を、どうしたら克服できるでしょうか。そのようにすることはなぜ大切なのでしょう。
- ピリポはエチオピア人の宦官にどのようにして会いましたか（使徒8：25-29参照）。ピリポが御霊に従った結果、ピリポ自身とそのエチオピア人にどのような祝福がもたらされましたか（使徒8：30-38参照）。あなた（もしくはあなたの知っている人）はこれまで、御霊に従ったことにより、どのような祝福を受けましたか。
- サウロは主の声を聞いた後、聖徒たちの迫害者から偉大な主の僕へと変わりました（使徒9：1-9, 17）。わたしたちはどうしたら主の声を聞くことができるでしょうか（教義と聖約1：38；6：23；8：2；18：34-36参照）。主の声を聞くこと

はわたしたちが心を変えるうえで、どのように役立つでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

家族全員で本課の関連聖句を読み、印を付けた後で、以下の質問をする。

- ワード（支部）の会員であるということには、どのような大切な意味があると思いますか。わたしたちのワードの指導者や教師として、どのような人が召されていますか。その人たちは、わたしたちを助けるために、どのようなことをしていますか。わたしたちは、彼らを助けるために、どのようなことができますか。

### 関連聖句——神の王国でともに働く

出エジプト18：13-26 教義と聖約107：99  
使徒6：1-3 1コリント12：12-21  
教義と聖約64：33-34 エペソ4：11-16

## 「神は人をかたよりみないかたで」

使徒10-14；15：1-35

- 一部の教会員は、ペテロが異邦人に福音を教えたことを聞いてどのように反応したでしょうか（使徒11：1-3参照）。わたしたちは教会の指導者から新しい指示を受けた場合に、最初はそれが受け入れられなかったり、理解し難いと思ったりしても、どのようにすべきでしょうか（ヨハネ7：17；2ニーファイ28：30；教義と聖約6：11, 14-15参照）。
- サウロとバルナバの召しは、教会員が神の業に召されることについて、何を教えていますか（使徒13：1-3参照）。あなたはどのような体験を通して、教会の召

しは御霊を通して行われるということを理解しましたか。

- パウロとバルナバは、聖徒たちが「信仰を持ちつづけるよう」助けるため、以前に教会の支部を組織した町々を再び訪問しました（使徒14：22；21, 23節も参照）。自分が所属するワードや支部の新しい会員を助けるために、わたしたちはどのようなことができますでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

サウルとバルナバの宣教師としての体験（使徒13-14）について話し合う。あなた自

身の専任宣教師としての体験を話す。あるいは、一人の帰還宣教師に伝道中の体験を話してもらう。サウルとバルナバがした体験と現代の宣教師たちの体験にどのような共通点があるか話し合う。家族で、一人の宣教師に手紙を書く。家族の祈りの中で、宣教師たちのうえに祝福と守りが与えられ

るように天の御父に祈る。

関連聖句——「神は人をかたよりみないかた〔である〕」

使徒10：34-35      ローマ2：9-11

使徒15：7-11      ニーファイ26：33

## 「こうして、諸教会はその信仰を強められ」

使徒15：36-18：22；1テサロニケ；2テサロニケ

- ベレアの会堂の人々はパウロの教えをどのように受け入れたでしょうか（使徒17：10-12参照）。わたしたちはどうしたら福音を学ぶ心の備えがさらによくできるようになるでしょうか。
- パウロはアテネの人々に神について何を教えたでしょうか（使徒17：22-31参照）。「われわれも、確かにその〔神の子孫である〕ということを知るのはなぜ大切なのでしょう（使徒17：28）。神の真の特質とわたしたちの御父としての役割を理解することは、神を愛し礼拝するうえで、どのように役立つでしょうか。
- パウロは1テサロニケ 1：5；2：2-12の中で、福音を人々にどのように教えるかについて、何と教えていますか。それらの原則はあなたが福音を教えるうえで、

どのように役立ってきましたか。

### 家族の話し合いのための提案

地元で働く専任宣教師を食事に招く計画を立てる。伝道活動の大切さについて、思いを分かち合うように依頼する。また、専任宣教師として奉仕するためにどのような備えをしたかを話してもらう。

話し合いの中で、「われらは天の王に」（『賛美歌』157番；『子供の歌集』94）または「宣教師になりたい」（『子供の歌集』91）と一緒に歌うとよい。

### 関連聖句——成功する宣教師の特質

1テサロニケ2：1-12      教義と聖約38：41

2コリント4：5      教義と聖約88：81

教義と聖約4：1-7      教義と聖約123：12-14

## 「御霊によって生きる」

使徒18：23-20：38；ガラテヤ

- パウロは「受けるよりは与える方が、さいわいである」という主の教えを思い起こさせて、エベソの長老たちへの話を終えました（使徒20：35）。あなたはどのようなときに、この教えが真実であることを実感しますか。
- パウロはガラテヤの聖徒たちに、御霊によって生き、その実を求めように勧めました（ガラテヤ5：16、25）。御霊の実

にはどのようなものがあるのでしょうか（本課「関連聖句」の項参照）。あなたの生活の中には、どのような御霊の実が見られるのでしょうか。生活の中に御霊の実が見られなく感じるとしたら、わたしたちは何をなすべきでしょうか。

- 「人は自分のまいたものを、刈り取ることになる」とはどういう意味でしょうか（ガラテヤ6：7-9参照）。この原則は、

# 31

# 32

聖霊のささやきに聞き従うわたしたちの能力にどのように当てはまるでしょうか。またこの原則は、わたしたちの対人関係とわたしたちが置かれている状況にどのように当てはまるでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

どうしたら家庭の中に御霊の力のあることが分かるかを、家族に質問する。御霊を

招くために家族でできる事柄について話し合う。次の1週間、家庭の中に御霊を招くために、家族でできる事柄を、目標として設定する。

### 関連聖句——御霊の実

ガラテヤ5：22-23      モロナイ8：26  
ヨハネ14：26              モロナイ10：3-5  
ヨハネ15：26              教義と聖約6：22-23

## 「あなたがたは神の宮であって」

1コリント1-6

- 1コリント1：10-13の中で、パウロはどのような問題について述べていますか。分裂や争いは、キリストの弟子としてのわたしたちの交わりに、どのような影響を与えるでしょうか（モーサヤ18：21-22；3ニーファイ11：29-30；教義と聖約38：27参照）。パウロは聖徒たちに、もっと一致するために何をしようと勧告していますか（1コリント1：10参照）。
- 神の知恵は「この世の知恵を、愚かにされ」る、ということのパウロは教えました（1コリント1：18-21）。神の知恵とこの世の知恵は、どのように異なるでしょうか（イザヤ55：8-9；教義と聖約38：1-2参照）。神の知恵がこの世の知恵を愚かにすることの実例として、どのようなことを挙げることができるでしょうか。わたしたちはどうしたら、「神の思い」を知ることができるでしょうか（1コリント2：10-13参照）。

## 33

- パウロはわたしたちの体を何にたとえていますか（1コリント3：16-17；6：19-20参照）。自分自身の体を神の宮として保つには、どうしたらよいでしょうか。道徳的に正しい生活をするには、どのような祝福が伴うでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

パウロが手紙を通して、よく教会員に教えを伝えていたことを説明する。現代の預言者、使徒、教会のその他の指導者がわたしたちに教えを伝えるために、どのような方法を取っているかを話し合う。家族で『リアホナ』大会特集号の説教、その他の出版物を読む。どうしたらそのメッセージを実践できるかについて話し合う。

### 関連聖句——道徳的な清さ

1コリント3：16-17      3ニーファイ12：27-30  
1コリント6：19-20      教義と聖約42：22  
ガラテヤ5：16              教義と聖約46：33

## 「あなたがたに伝えたとおりに言伝えを守っているので」

1コリント11-16

# 34

- 「主にあつては、男なしには女はないし、女なしには男はない」とはどういう意味でしょうか（1コリント11：11）。神の王国において、夫婦の関係は非常に大切なものです。それはなぜでしょうか。このことは、夫と妻がどのように接し合うべきかについて、何を教えているでしょうか。
- パウロは、聖餐の目的は何であると教えていますか（1コリント11：23-26参照；ルカ22：19-20も参照）。自分自身のふさわしさを省みることは、聖餐の非常に大切な要素です。なぜでしょうか。
- 聖典はわたしたちに御霊の賜物を求めるように勧告しています（1コリント12：31；教義と聖約46：8）。わたしたちはどのような動機で御霊の賜物を求めるべきでしょうか（1コリント14：12；教義と聖約46：9参照）。
- パウロは栄光の異なる王国について、ど

のようなことを教えているのでしょうか（1コリント15：35-44参照；教義と聖約88：27-32も参照）。復活と3つの栄光の王国に関する教えは、皆さんの生き方にとどのような影響を与えていますか。

### 家族の話し合いのための提案

本課の関連聖句を幾つか読む。次に、本課の第3段落に挙げられている質問事項について話し合う。家族の一人一人が持っている御霊の賜物で、家族全体を強めるのに役立つものについて、各自が感じていることを話してもらう。各人が家族の中で大切な存在であることを理解できるように助ける。

### 関連聖句——御霊の賜物

1コリント12：1-11    3ニーファイ29：5-6  
1コリント12：31    モロナイ10：8-19  
ヤコブの手紙1：17    教義と聖約46：8-26

## 「神の和解を受けなさい」

2コリント

# 35

- パウロとテモテが、苦しめられ、悩み、迫害を受け、落胆しながらも、絶望に陥ることがなかったのはなぜでしょうか（2コリント1：3-5；4：5-15参照）。あなたはこれまで、逆境のときに天の御父とイエス・キリストからどのような助けを受けてきましたか。
- パウロは聖徒たちに、互いに赦し合うように勧告しました（2コリント2：5-8）。人を赦すのは、なぜ大切なことなのでしょう（マタイ6：14-15；2コリント2：7-8；教義と聖約64：9-10参照）。どうしたらもっと人を赦すことができるようになるのでしょうか。

- 自分の罪に対して「神のみこころに添うた悲しみ」を感じるとはどういう意味でしょうか（2コリント7：9-10）。「神のみこころに添うた悲しみ」は悔い改めの要素として重要なものです。それはなぜでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

「わたしたち自身も、神に慰めていただくその慰めをもって」人々を慰めようとしたパウロの働きに特に注意を向けながら、2コリント1：3-4を読む。地元の病院、ホームレスの人々の援助機関、障害者や高齢者のための施設などを訪問する計画を立てる。

食事の世話、娯楽的な慰問活動、食料品や衣類などの必要とされている物品の提供などを行う。

家族の話し合いの一部として、「主の恵み、人にも分かつたん」（『賛美歌』138番）を一緒に歌うとよい。

### 関連聖句——キリストの弟子の特質

2コリント1：3-5      2コリント4：5-10  
2コリント1：11      2コリント5：17-21  
2コリント2：5-8      2コリント7：9-10

## 「神に愛され、召された聖徒」

ローマ

- わたしたちは、神と和解し、罪に対する罰を赦され、罪がなく義になつていくとの宣言を受けるときに義とされます。なぜわたしたちは義とされなければならないのでしょうか（ローマ3：10-12, 23参照；アルマ7：21も参照）。どうしたら義とされるかという点について、パウロはどう教えているのでしょうか（ローマ3：24, 28；5：1-2参照；2ニーファイ2：6も参照）。
- バプテスマはどのような意味で、死、埋葬、復活（新たな誕生）にたとえることができるのでしょうか（ローマ6：3-4；教義と聖約76：50-52参照）。あなたにとって、バプテスマはどのような意味で新たな誕生と言うことができただけでしょうか。
- あなたは「神は、神を愛する者たち……と共に働いて、万事を益となるようにして下さる」（ローマ8：28）ということを、どのようなときに実感しましたか。

- ローマ12：9-21には、真の聖徒の特質としてどのようなものが挙げられていますか。これらの特質の中で、あなたにとって伸ばすのが最も困難なものはどれでしょうか。この特質を伸ばすために、今週どのようなことができるでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

本課の関連聖句を幾つか読み、家族に、ワードあるいは支部の会員で、これらの聖句に書かれている特質を備えた人を挙げてもらう。家族一人一人に、この1週間、その人々の模範に従って何かをするようにチャレンジする。

### 関連聖句——聖徒の資質

ローマ1：7-8      モーサヤ3：19  
ローマ12：9-21      教義と聖約4：5-6  
エペソ4：1-3      教義と聖約88：74-77, 81

## イエス・キリスト——「信仰の導き手であり、またその完成者」

ヘブル

- ヘブル1から、イエス・キリストについて何を学ぶことができますか。
- 神権者は「この榮譽ある務を自分で得るのではなく」「神の召しによって受ける」と教えられています（ヘブル5：4）。それはなぜでしょうか。
- パウロは、イエス・キリストへの信仰に

- よって偉大なことを成し遂げた人々の例を数多く挙げました。具体的にどのような人を挙げていますか（ヘブル11：4-12, 17-34参照）。
- パウロは、信仰は逆境や苦しみのあるときにわたしたちを助けてくれると教えています（ヘブル11：32-38）。あなたはこれ

36

37



まで、どのようにして信仰によって逆境に耐えることができましたか。イエス・キリストへの信仰の実践によって、ほかにどのような祝福を受けてきましたか（ほかの人の例でもよい）。

### 家族の話し合いのための提案

種をまく。へブル11：1とアルマ32：21を読み、種をまくことは、どのような意味で信仰による行いと言えるのかを尋ねる。次にヤコブの手紙2：17を読む。種を生長させ

るにはどのようなことが必要かを質問する。これから数週間、自分がまいた種が育つように世話をし、信仰と働きがその生長を助けているかどうかを定期的にチェックする。

家族によるこの話し合いの中で、「信仰」（子供の歌集）50）を歌うとよい。

### 関連聖句——信仰

へブル11：1-6      アルマ32：21  
ヤコブの手紙2：14-18      エテル12：6  
1ニーファイ7：12      教義と聖約63：10-11

## 「あなたは……わたしのことをあかしした」

使徒21-28

- パウロは、エルサレムで怒った群衆に対し、自身の改宗とイエス・キリストの示現について話すことによって、偉大な勇気を示しました（使徒21：27-22：21）。あなたは勇気が求められる状況の中で証を述べた経験がありますか。そのとき、どのようにして勇気を得ましたか。パウロの行動について学ぶことは、さらに勇気をもって証を人々に伝えるうえでどのように役立つでしょうか。
- 「良き港」を出ようとした船長は、船を出すのは非常に危険だというパウロの警告を受け入れなかったために、どのような結果になったのでしょうか（使徒27：7-20参照）。百卒長がパウロの警告を受け入れなかったのは、どのような動機からだったのでしょうか（使徒27：11-12参

# 38

照）。わたしたちの中に、教会の指導者の勧めをしばしば受け入れない人がいるのはなぜでしょうか。教会の指導者の勧告に従うことの大切さについて、どのようなことを学びましたか。

### 家族の話し合いのための提案

模範によって靈感、勇気を与えてくれた人について考えるように家族に言う。その人がだれか、またなぜその人のことが思い浮かんだのかを話してもらおう。

### 関連聖句——神の証人として立つ

使徒26：22-23      教義と聖約18：10-16  
使徒28：30-31      教義と聖約33：7-11  
ローマ1：16

## 「聖徒たちをととのえて」

エペソ

- 使徒と預言者の大切さについてパウロはエペソ2：20と4：11-14で何と教えているのでしょうか。真の教会にとって生ける使徒と預言者はなぜ不可欠なのでしょう。末日の使徒と預言者による教えの中

には、わたしたちが完成し、一致する助けとなるどのような教えがありますか。

- エペソ6：1-4にあるパウロの勧告は、家族の関係を強化し、家庭に一致をもたらすうえでどのように役立つでしょう

# 39

か。家族に関して末日の使徒と預言者たちはどのような勧告を与えているでしょうか。

- パウロは神の武具としてどのようなものを挙げていますか。それぞれの武具は何を表しているでしょうか（エペソ6：13-18；教義と聖約27：15-18参照）。神の武具はそれぞれ、サタンの影響力からどのようにわたしたちを守ってくれるでしょうか。毎日この武具を身に着けるにはどうすればよいでしょうか。

#### 家族の話し合いのための提案

家族全員に紙を1枚ずつ渡す。それを裂く

ように言う。次に家族の一人に厚い本を渡し、その本のすべてのページをまとめて裂いてみるように言う。本の中の1枚1枚の紙が本として一つになると強くなるのと同じように、家族や教会もわたしたちが一致するとさらに強くなるということを説明する。どうしたら家庭やワード、支部における一致をさらに強められるかについて話し合う。

#### 関連聖句——一致

詩篇133：1                      2ニーファイ1：21  
1コリント1：10                モーセ7：18  
エペソ4：11-16

## 「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができ」

ピリピ；コロサイ；ピレモン

- わたしたちは今日、ピリピ4：8に記されている勧告をどのように応用できるでしょうか（信仰簡条1：13も参照）。この勧告に従うことによってどのような祝福を受けるでしょうか。
- 福音にあって「ゆるぐことがなく、しっかりと……ふみとどま」とはどのような意味でしょうか（コロサイ1：23参照）。ある人々はどのような理由から「福音の望みから移り行く」のでしょうか（コロサイ1：23）。証を強めるためにあなたは何かができるでしょうか。
- パウロは感謝することの大切さを繰り返し強調しました（コロサイ2：7；3：15, 17）。感謝することはなぜ大切なのでしょうか。あなたはどのようにして、天父と救い主に感謝を表せるでしょうか。

#### 家族の話し合いのための提案

信仰簡条第13節を黒板、画用紙、または白紙に書いて提示する。家族にそれを数回声に出して読んでもらう。毎回、鍵になる言葉を一つ選び、その言葉を隠す、または消す。家族が暗記できるようになるまで、繰り返しそれを続ける。

#### 関連聖句——パウロの勧告

ピリピ4：8                      信仰簡条1：13

『聖句ガイド』を活用し「真実」「正直」「清さ」「純潔」「慈善」「徳高くあること」に関連する聖句をそれぞれ一つずつ、「関連聖句」の項目に加える。

1および2テモテ；テトス

- 一部の人は「常に学んではいるが、いつになっても真理の知識に達することができない」のはなぜでしょうか（2テモテ3：7）。学んでいる事柄が真理の知識に向かっているものであることを確認するにはどうすればよいでしょうか。あなたは福音のまことの教義を学ぶことによって、どのような祝福を受けているでしょうか。
- 「信者の模範にな〔る〕」とはどのような意味だと思いますか（1テモテ4：12）。1テモテ4：12に示されているそれぞれの面において、あなたはどのようにして模範となれるでしょうか。あなたは「信者の模範」を示している人を通してどのような影響を受けてきましたか。
- どのような場合に、「金銭を愛することは、すべての悪の根」となるのでしょうか（1テモテ6：7-10参照）。金銭や物質

的な富に執着しすぎないようにするにはどうすればよいでしょうか（1テモテ6：17-19；モルモン書ヤコブ2：18-19参照）。

#### 家族の話し合いのための提案

『福音の視覚資料セット』や『リアホナ』などから、慣れ親しんだ聖句の内容を描いた絵や写真を選び提示する。次に賛美歌あるいは初等協会の歌を数曲歌う。それぞれの視覚資料を見た後、また歌を歌った後に、それらから連想される教義や教えを挙げてもらう。

#### 関連聖句——まことの教義の力

1テモテ4：16                      3ニーファイ11：31-41  
2テモテ3：16-17                教義と聖約88：77-78  
ヨハネ8：31-32

## 清い信心

ヤコブ

- ヤコブは「知恵に不足している」人々に対してどのような助言を与えているでしょうか（ヤコブ1：5-6参照）。預言者ジョセフ・スミスはヤコブ1：5の助言を読んだときにどのような動機を得たでしょうか（ジョセフ・スミス—歴史1：11-13参照）。あなたは祈りがこたえられることについてどのような体験がありますか。
- ヤコブは「聞くに早く、語るにおそく」なければならぬと教えました（ヤコブ1：19）。あなたは生活の中で、この勧告が正しいことをどのように体験したことがあるでしょうか。
- ヤコブは清い信心を実行するために、どのようなことを行うよう説いているでし

ようか（ヤコブ1：27参照）。助けを必要としている人々を訪問したり、彼らを助けたりすることはなぜ、清い信心と言えるでしょうか。「世の汚れに染まらずに」いるためにはどうすればよいでしょうか。

#### 家族の話し合いのための提案

ヤコブは「清く汚れのない信心」の実践の一つとして、「自らは世の汚れに染まらずに、身を清く保つこと」を挙げている（ヤコブ1：27）。この教えが、わたしたちの日々の生活に、どのように影響するかについて話し合う。話し合いの中でパンフレット『若人のために』（34285 300）を採り上げるとよい。このパンフレットの中には、「自らは

世の汚れに染まずに、身を清く保つ」にはどうしたらよいかについて述べた、大管長会からの勧告が載せられている。

#### 関連聖句——祈りの答えを得る

ヤコブ1：5-6      3ニーファイ18：20-21  
マタイ21：22      教義と聖約112：10  
アルマ37：37      ジョセフ・スミス—  
歴史1：11-19

## 「選ばれた種族」

1および2ペテロ；ユダ

- わたしたちは試練や迫害に出遭うときに、どのように救い主の模範に従うことができるでしょうか（1ペテロ2：19-23参照）。キリストのように試練を堪え忍んだ人々として、あなたはどのような人々を目にしたことがありますか。試練を受けるときに、キリストの模範に従うならば、わたしたちはどのような祝福を受けられるでしょうか。
- ペテロは神の性質としてどのような属性を挙げているでしょうか（2ペテロ1：4-7参照）。これらの資質を伸ばすことはなぜ大切なのでしょう（2ペテロ1：8参照）。これらの資質を持っている人に会ったことがありますか。
- ペテロとユダは教会員の間に偽教師が現れることについて警告しています。偽教師にはどのような特徴があると二人は述べているでしょうか（2ペテロ2：1-3, 10, 12-19；ユダ1：4, 8, 10-13, 16, 18-19参照）。ペテロとユダは、わたしたちが偽教師を退け、主に忠実であって、

再臨に備えるためにどのようなことをするようにとの勧告を与えているでしょうか（2ペテロ3：11-14, 17-18；ユダ1：3, 20-21参照；モロナイ7：12-17；教義と聖約45：57；46：7-8も参照）。

#### 家族の話し合いのための提案

家族が一緒に作るごちそうのためのレシピを準備する。その料理を作りながら、なぜレシピに書かれている材料を全部そろえることが大切なのかについて話し合う。作り終えたら、2ペテロ1：4-8を読む。わたしたちが天の御父やイエス・キリストのようになるためには、一つ一つの神の性質を身に付けることが重要である。その理由について話し合う。

#### 関連聖句——偽預言者を警戒する

2ペテロ2：1-3      2ニーファイ28：7-9  
マタイ7：15-20      教義と聖約45：57  
マタイ24：24

## 「神は愛である」

1, 2, 3ヨハネ

- ヨハネは1ヨハネ4：8, 16で、どのような言葉を使って天父を表現しているでしょうか。なぜこの表現が適切だと思いますか。
- 1ヨハネ4：9-10を読む。ヨハネはこれらの聖句で神の愛がどのように表されて

いると述べているでしょうか（ヨハネ3：16；1ヨハネ5：11；2ニーファイ9：10も参照）。わたしたちの罪を贖うために御子を遣わされたことはなぜわたしたちに対する天父の愛を表しているのでしょうか。

- 天父はわたしたちが天父の御心に従って願ひ求めるならば、祈りにこたえてくださるとヨハネは教えています(1ヨハネ5:14-15)。あなたは祈りを通して天父の愛を感じたことがあるでしょうか。
- 神を愛していると言いながら、「互に愛し合」っていない人々について、ヨハネは何と言っているのでしょうか(1ヨハネ2:9, 11; 3:14-15, 17; 4:20参照)。わたしたちが人々に示す愛はなぜ、神に対する愛を測る物差しとなるのでしょうか。
- なぜ親は、「[自分の]子供たちが真理のうちを歩いていることを聞く」(3ヨハネ1:4)とき、なぜそのような喜びを得るのでしょうか。

#### 家族の話し合いのための提案

これから一緒に、あることを調査するた

めに出かけると家族に話す。徒歩か乗り物で、天の御父とイエス・キリストがわたしたちを愛しておられることを示すものを探しに出かける。天の御父とイエス・キリストがわたしたちを愛しておられることを示すものを何か見つけたら、それを書き留める。調査が終わったら、それぞれが書き留めたことを発表する。

この家族の話し合いの中で、「愛あるところ」(『子供の歌集』78-79)と一緒に歌うとよい。

#### 関連聖句——「兄弟を愛する者は、光におる」

1ヨハネ2:10-11	1ヨハネ4:20-21
1ヨハネ3:16-19	ヨハネ21:15-17
1ヨハネ4:7-11	モロナイ7:45-48

## 「勝利を得る者は、これらのものを受け継ぐであらう」

黙示1-3:12

これらの聖句の理解を深めるため、『聖句ガイド』の「聖書のジョセフ・スミス訳(抜粋)」から、J S 黙示1:1-4; 2:22; 12:1-17を参照する。

- この示現において、救い主の口から何が出てきたでしょうか(黙示1:16参照)。この剣は何を表しているでしょうか(教義と聖約6:2参照)。主の言葉はどのような意味で剣にたとえられるでしょうか(ヘブル4:12; ヒラマン3:29参照)。
- ヨハネの示現から、現世での試練と誘惑に打ち勝つ人々に対し、主はどのような約束をされているでしょうか(本課「関連聖句」の項参照)。
- 教会と神の王国は最終的にどのようにしてサタンに打ち勝つのでしょうか(黙示12:11参照)。キリストの贖罪と、贖罪に対するあなたの証は、サタンと戦うあなたにとってどのような助けとなるでしょうか。

## 45

#### 家族の話し合いのための提案

黙示6:12-14と16:18-21を読み、これらの聖句はヨハネが末日に関する示現の中で見た事柄を述べていることを説明する。次に、黙示録に書かれている事柄の中には恐ろしい預言もあるが、決してそれだけではなく、困難な時代にあっても、希望を与え、恐れることなく生きていけるように助けてくれる預言もあることを説明する。本課の関連聖句を幾つか読み、希望をもたらずメッセージを探す。

#### 関連聖句——打ち勝つ人々への約束

黙示2:7	黙示3:5
黙示2:11	黙示3:12
黙示2:17	黙示3:21

## 「神が人と共に住み、人は神の民となり」

黙示5-6：19-22

- 6章を読むと、サタンは地球の歴史全体を通じて義人に対して戦いを挑んできたことが分かります。サタンは黙示6：4-11に記されている事柄をどのような方法で行ったのでしょうか。サタンは今日、義人を滅ぼすためにどのような策略を用いているのでしょうか。わたしたちはサタンとの戦いにおいて、どうすれば希望をもって、未来を正しく見通すことができるのでしょうか。
- イエス・キリストの再臨によって、キリスト御自身が地球を治められる1,000年間である福千年が始まります。福千年の間サタンはどうなるのでしょうか（黙示20：1-3参照）。サタンが縛られると、わたしたちはどのような生活を送ることになるのでしょうか（1ニーフアイ22：

26；教義と聖約45：55，58参照）。わたしたちは現在の生活において、どうすればサタンの力を閉め出すことができるでしょうか。

### 家族の話し合いのための提案

福千年の間サタンが縛られることを述べた黙示20：1-3を読む。次に家族に最近の新聞か雑誌を渡す。それらに目を通させ、福千年の間には新聞や雑誌には載らないと思われる記事を見つけてもらう。

### 関連聖句——黙示録に記されている希望と慰めの言葉

黙示3：20

黙示22：1-7

黙示7：13-17

黙示22：17

黙示21：3-7

## 聖文研究の祝福に関する末日の預言者の教え

「聖文を調べなさい。わたしたちが公にしている啓示を調べ、御子イエス・キリストの名によって、真理が明らかにされるように天の御父に求めなさい。一切疑うことなく、神の栄光にひたすら目を向けながらそうするならば、主はあなたがたに聖霊の力をもってこたえてくださることでしょう。そして、ほかの人によらず、自分自身で知ることができるでしょう。それによって、神に関する知識について人に頼ることはなくなり、また、何の疑いの余地もなくなることでしょう。それは、人は自分自身を造られた御方から教えを授けられるとき、その御方が自分たちを救ってくださることを知るからです。」（ジョセフ・スミス、*Teachings of the Prophet Joseph Smith* 「預言者ジョセフ・スミスの教え」ジョセ

フ・フィールディング・スミス選、11-12)

「聖文を読むことが強調されたことに感謝しています。聖文を読むことが義務でなく楽しみとなり、皆さんが神の御言葉を夢中になって読むようになることを望んでいます。聖文を読むにつれて、心が開かれ、霊性が高まることをお約束いたします。最初は退屈かもしれませんが、神の御心を知り、御言葉を味わうにつれてすばらしい経験となるでしょう。」（ゴードン・B・ヒンクレー「内なる光」『聖徒の道』1995年7月号、107)

「主イエス・キリストの生涯とその教えについて読むにつれて、わたしたちの救い主である御方をもっと身近に感じることでし

よう。】(ゴードン・B・ヒンクレー「あなたの内なる賜物を伸ばしなさい」『聖徒の道』1990年1月号, 98)

「教会の指導者の勧告に従って、聖文を読み、勉強するとき、様々な恩恵や祝福があります。それはわたしたちが行う学習の中で最も有益なものです。」(ハワード・W・ハンター「聖文を読む」『聖徒の道』1980年3月号, 87)

「もし各個人や家族が定期的に続けて熱心に聖文を読むならば、……様々な領域の活動は自動的に成し遂げられます。もっと証が深まり、人々はさらに熱心に参加するようになるでしょう。家族が強められ、個人のうえに啓示が注がれるでしょう。」(エズラ・タフト・ベンソン「御言葉の力」『聖徒の道』1986年7月号, 81)

「主の御手より受けた偉大なる事柄を軽んじないようにしましょう。主の御言葉は主がわたしたちに与えられた最も大切な賜物の一つです。ぜひとも熱心に聖文を勉強してください。毎日聖文に親しみ、御霊の力を受けて召しを果たすようにしてください。家族の中で聖文を読み、子供たちに、聖文を愛し大切にしよう教えてください。」(エズラ・タフト・ベンソン「御言葉の力」『聖徒の道』1986年7月号, 82)

「わたしは自分が神と密接な関係になくなったと感じるとき、また自分の祈りが神の耳に達せず、神の御声が聞こえないように思われるとき、わたしは神からはるか遠く離れていることを知ります。そのようなとき、一生懸命に聖文を読むと、その距離は縮まり、霊性が回復してきます。また、心と思いと力を尽くして愛さなければならない人々を以前にも増して深く愛するようになった自分に気づきます。そして、愛が深

まると、彼らの勧告にも容易に従えるようになるのです。」(スペンサー・W・キンボール, *The Teachings of Spencer W. Kimball* [スペンサー・W・キンボールの教え] エドワード・L・キンボール編, 135)

「わたしは、だれもが一生のうちでいつかは聖文の価値を悟らなければならない、それも一度だけではなく何度も何度も再発見しなければならないと信じています。」(スペンサー・W・キンボール「貴重な財産—聖典」『聖徒の道』1985年12月号, 4)

「聖文を学ぶ人は生活に広がりを得ると思います。それは、ほかの人々にはつかむことのできないものであり、聖文を学ぶという方法によらなければ、絶対に得られないものです。そこには、信仰の高まり、正しいことをしたいという望み、福音、特に標準聖典を学ぶ人、またその原則について深く考える人に与えられる靈感と理解があります。」(ブルース・R・マッコンキー, *Church News* [チャーチニュース] 1976年1月24日付, 4)

「すべての末日聖徒に、聖文についての知識と理解を深めるようにお勧めします。この神聖な書物は狡猾な悪魔に対抗する防御のとりです。」(マービン・J・アシュトン「最高の評価」『聖徒の道』1978年2月号, 111)

「わたしは、毎日家族の祈りと聖文の勉強を行うなら、家庭はなお安全な場所となって家族のきずなは強まり、こうして人生が豊かになり、現代の試練と永遠の行く末に対して備えができるようになると、約束いたします。」(L・トム・ペリー「福音の基本に立ち返る」『聖徒の道』1993年7月号, 95)